



## 〈木の上の自転車〉

ジャーナリスト  
松本 侑壬子

アフリカ大陸の南東部に位置するマ  
ラウイは、世界でも最貧国のひとつ。国  
民の八五%が農家(主食の材料のトウ  
モロコシの一種を栽培)だが、雨水に頼  
る天水農業なので、雨が降らねば死活  
問題。二二世紀になっても、飢餓に備え  
て雨乞いの儀式に頼るしかなかった。

これは、この国を襲った大干ばつか  
ら村の危機を救った一四歳の少年の奇  
跡のような実話の映画化である。

二〇〇一年のその日、学校大好きの  
一四歳のウイリアム(シンバ)は、父ト  
ライウエル(イジョフオー)の買ってく  
れた制服を着て張り切って中学校の入  
学式に出席する。が、帰り際に担任教師  
に学費未納で退学だと言われる。だが、  
長雨のせいで収穫ができず、家には金  
がない。姉も入学金がないため大学進  
学を諦めた。

激しい雨の後、今度は連日の日照り  
で土地が干上がってしまった。このま

までは作物が全滅だ。仮装して雨乞  
する村人たち。だが、理科が得意なウイ  
リアムは、自分で何とか工夫して、井戸  
から畑に水を引こうと思いつく。理科  
の先生に頼んで教室の隅で授業を聞か  
せてもらうが、校長に見つかり追い出  
される。今度は担任教師にこっそり頼  
んで図書館に出入りすることを許して  
もらう。先生の弱みを秘密にするのと  
交換条件で。

この小さな中学校の図書館で、ウイ  
リアムは運命の一冊『エネルギーの利  
用』に出会う。風車を使って充電した  
電池でポンプを動かせば、乾季でも穀  
類の栽培ができ、収穫が二倍になる、と  
あった。「ダイナモ(発電機)があれば、  
電気が起こせるんだ!」

ウイリアムは父親の自転車のダイナ  
モに目をつける。早速「お父さんの自  
転車で風力発電を作りたい」と言うと、  
「おもちゃなんか作って何になる」と殴

り倒される。が、「お父さんが知らない  
ことを僕は知ってる、学校へ行ったか  
ら」「雨乞いだけでは雨は降らない。先  
祖らは力を合わせたから生き延びたん  
だ」「自転車で電気が起こせるんだよ」  
と辛抱強く説得する。だが、息子の話は  
無学な父親には理解できない。餓死し  
た愛犬の墓の前で涙するウイリアム。

「私たちは、いつまで愛する者を失  
い続けるの?」との妻(マイガ)の涙に  
トライウエルは胸を突かれる。自転車  
で息子のところへ引き返し、「俺は失敗  
ばかりしてきた」とぼつり。「全部失敗  
じゃないよ。手伝ってくればできる  
よ」とウイリアム。よし!と父と子は自  
転車を分解し、廃品を組み合わせ、木で  
井戸の傍にやぐらを立てる。仲間たち  
も集まって手伝い始めた。

やぐらのてっぺんに木のプロペラと  
自転車の車輪を括り付け、井戸の中に  
パイプを下ろし、井戸から樋を引いて  
水路を作り…。みんなわくわくと働い  
ていると、お!風車の回転につれて、樋  
に水がちろちろと、やがて勢いよく流  
れ始めた。やった!と父と息子は抱き  
合う。村は風車発電のおかげで一年中  
収穫が可能になった。

学びで未来を手に入れた感動の実話。  
支えた家族にも人間ドラマがある。

## 『風をつかまえた少年』

イギリス・マラウイ合作映画(113分)

監督:キウエテル・イジョフオー

出演:キウエテル・イジョフオー、マックスウェル・シンバ、  
アイサ・マイガほか

8月2日よりヒューマントラストシネマ有楽町ほか  
全国順次公開

©2018 BOY WHO LTD / BRITISH BROADCASTING CORPORATION / THE  
BRITISH FILM INSTITUTE / PARTICIPANT MEDIA, LLC

